

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業
(次世代研究者育成プログラム)

イノベーション創出人材の長期インターンシップ派遣

平成 30 年度 募集要項

未来価値創造実践人材育成コンソーシアム

東京農工大学 国際基督教大学 早稲田大学 産業技術総合研究所

1. プログラムの概要と長期インターンシップ派遣の趣旨

イノベーション創出人材の育成は、単に大学と産業界の連携活動によって実現できるものではなく、その実践には、個人の意識を改革し、社会との関連性を視野に入れながら高い専門性をもった高度な思考、計画、実践力が必要となります。本事業では、東京農工大学、国際基督教大学、早稲田大学、産業技術総合研究所の3大学1機関でコンソーシアムを構成し、各機関の高度な専門性を有する博士課程の学生ならびにポストドクターの方々を対象として、産業界等の社会的ニーズを反映させた教育プログラムを実施し、技術革新、産業創出、社会政策提言ができる優れた人材の養成を目的として、国内外を問わず、企業・研究機関等への長期インターンシップを実施いたします。

2. 長期インターンシップの募集対象

以下のいずれの条件も満たす者とする。

- ・平成30年4月1日現在において、東京農工大学、国際基督教大学、早稲田大学に在籍中の博士課程（博士課程前期を除く）の学生、産総研で技術研修生として受け入れている博士後期課程の学生又は各機関に所属する博士の学位取得後10年以内の任期付研究者とする。
- ・国内外の企業・研究機関等において、連続して2カ月以上（但し、平成30年4月1日～平成31年1月31日（厳守）までの間とする）のインターンシップに従事することが可能な者

3. 長期インターンシップの募集人数

平成30年度は、東京農工大学8名、国際基督教大学2名、早稲田大学4名、の計14名を募集する。

4. 長期インターンシップの派遣先

国内外の企業、法人、行政機関、研究機関、国際機関、非営利団体、大学（但し、原則として海外の大学のみ。）

派遣先については、原則ご自身で受入先との交渉を行っていただきます。

5. 応募方法

（1）応募書類

以下から申請書書式をダウンロードできます。

<http://www.tuat.ac.jp/outline/facility/innovation/index.html>

派遣開始時における身分（DC・PD）により申請書を作成してください。

（2）提出先

下記の自身が所属する「9. 提出先・問い合わせ先」に、電子媒体※により提出ください。

※指導教員（産総研の場合は受入職員）及び応募者の捺印のあるPDFファイルとします。

なお、審査等の諸手続きの関係で、派遣開始予定日の原則6週間前までに申請書をご提出いただくようお願いします。VISA等入国に必要な査証の取得が必要な場合は、取得までに必要な期間も含め、派遣開始予定日に間に合うようにご提出ください。

(3) 募集期間

平成 30 年 2 月 16 日（金）～9 月 28 日（金）

※随時選考を行い、募集期間内に定員に達した場合は、募集を停止します。

6. 選考方法

(1) コンソーシアム運営協議会において、書類審査により選考いたします。

応募の状況によっては、面接審査を行うことがあります。

(2) 選考結果発表

随時選考を行い、選考結果は応募者全員に通知いたします。

7. 経費支援等

(1) インターンシップ期間中、その勤務実績に応じて給与を支給。

但し、1 日当たり 4 時間、原則週 5 日間、3 ヶ月以内を支給上限とし、月額最大 15 万円までとします。

(2) 各大学の規則等に基づき、派遣先への交通費及び滞在費を支給。

但し、滞在先から一時帰宅する場合は、原則自己負担とします。また、派遣先から他の機関等へ移動する場合も、原則自己負担とします。

8. 成果報告等

派遣期間終了後には、派遣成果報告書の提出、事後学習への出席、成果報告会への出席・発表を義務付けます。

9. 提出先・問い合わせ先

◎東京農工大学 イノベーション推進機構

〒183-8538 東京都府中市幸町 3-5-8

府中キャンパス大学院連合農学研究科管理研究棟 2F 206

TEL : 042-367-5756

E-mail: innov@cc.tuat.ac.jp

◎国際基督教大学

〒181-8585 東京都三鷹市大沢 3-10-2

TEL : 0422-33-3139

E-mail: kenkyuhi@icu.ac.jp

◎早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 5 1 3

TEL : 03-5272-1349

E-mail: w-jinzai-conso@list.waseda.jp

「未来価値創造実践人材育成コンソーシアム」
イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム
インターンシップ（2018 年度）（DC 用）

応募申請書

申請者氏名	フリガナ		入学年度	年 月	
			国籍		
所 属	大学大学院 研究科 専攻				
住 所				最寄駅	線 駅
Tel (携帯)			学籍番号		
メール アドレス			学 年 (派遣時点)	博士(後期)課程 年	
主指導教員 氏名	印	専門 分野			
現在受給している 助成等の有無	有・無	具体的な助成等名 (RA, TA, 日本学術振興会特別研究員等) とその業務内容			
派遣先（企業・機関名） 受入担当者（氏名・職位）					
派遣機関 所在地（住所）					
派遣期間	2018 年 月 日 ～ 年 月 日				
航空費	往復の航空賃の見積金額を記載 円		派遣先への 通勤手段	自宅から通勤 ・ 現地滞在	
申請者の研究業績： 申請者が <u>中心的役割を果たした研究業績</u> のみ、以下の要領に従ってリストを作成すること。 【論文】 （査読有り） 1) 農工太郎、小金井花子、… 「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp57－62、2016（IF = 2.5） 2) 農工太郎、府中治郎、小金井花子、… 「(題名)」、『(掲載誌名)』、△△出版、〇号、pp17－22、2015 <採録決定>（IF = 1.5） （査読なし）					

3) 府中治郎、農工太郎、・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp33－39、2016

【学術雑誌等における解説、総説】

1) 農工太郎、・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp57－62、2016

【国際会議における発表】 ※発表者に○を付すこと※

(口頭発表 査読有り)

1) ○Noko T, Koganei H, Fuchu J、・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、BB-11、Los Angeles, USA、(June 2017) <発表決定>

(口頭発表 査読なし)

2) ○Noko T, Fuchu J、・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、BB-11、Hawaii, USA、(Dec 2016)

(ポスター発表 査読なし)

3) ○Noko T, Kobatake H、・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、BB-11、London, UK、(June 2015)

【国内学会・シンポジウム等における発表】

(口頭発表 査読無し)

1) ○農工太郎、小金井花子、・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、No. 200、仙台、2015 年 9 月

【特記事項 (受賞歴等)】

1) 学会太郎、・・・ 「(賞の名称)」、2015 年 4 月

インターンシップの概要及び見込まれる成果 (1000 字程度 募集要項の趣旨を理解して記入すること。)

インターンシップを自分の将来及び研究にどのように活かす予定か (500 字程度 キャリア計画を含めて記入すること。)

肖像権使用同意書

私は、未来価値創造実践人材育成コンソーシアム及び各構成機関（以下「コンソーシアム等」という）に対し、コンソーシアム等またはその指名した者が私の肖像等を撮影した画像について、下記に定める使用範囲において、無償で使用することに同意します。

●署名

印

【使用範囲等】

①本画像を使用したコンソーシアム等またはその指名した者の作品が、放送、印刷（ポスター、パンフレット等）、インターネット（同コンソーシアムホームページ等）他のあらゆる媒体で使用されることを許可します。

②本画像の使用地域及び使用期限を制限しません。

「未来価値創造実践人材育成コンソーシアム」
イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム
インターンシップ（2018 年度）（PD 用）

応募申請書

申請者氏名	フリガナ		国籍	
所 属	大学 大学院			
身 分 (派遣時点)			雇用期間	年 月から 年 月
住 所				最寄駅 線 駅
TEL(携帯)			最終学歴	博士(後期)課程 年 月修了
メール アドレス				
所属研究室 受入教員氏名	印	専門 分野		
現在受給して いる助成等の 有無	有・無	具体的な助成等名(日本学術振興会特別研究員など)とその業務内容		
派遣先(企業・機 関名)受入担当者 (氏名・職位)				
派遣機関 所在地(住所)				
派遣期間	2018 年 月 日 ~ 年 月 日			
航空費	往復の航空賃の見積金額を記載 円		派遣先への 通勤手段	自宅から通勤 ・ 現地滞在
申請者の研究業績： 申請者が <u>中心的役割を果たした研究業績</u> のみ、以下の要領に従ってリストを作成すること。 【論文】 (査読有り) 1) 農工太郎、小金井花子、… 「(題名)」、『(掲載誌名)』、〇〇出版、〇号、pp57－62、2016 (IF				

= 2.5)

2) 農工太郎、府中治郎、小金井花子、・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、△△出版、○号、pp17-22、2015 <採録決定> (IF = 1.5)

(査読なし)

3) 府中治郎、農工太郎、・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、○○出版、○号、pp33-39、2016

【学術雑誌等における解説、総説】

1) 農工太郎・・・ 「(題名)」、『(掲載誌名)』、○○出版、○号、pp57-62、2016

【国際会議における発表】 ※発表者に○を付すこと※

(口頭発表 査読有り)

1) ONoko T, Koganei H, Fuchu J・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、BB-11、Los Angeles, USA、(June 2017) <発表決定>

(口頭発表 査読なし)

2) ONoko T, Fuchu J,・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、BB-11、Hawaii, USA、(Dec 2016)

(ポスター発表 査読なし)

3) ONoko T, Kobatake H,・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、BB-11、London, UK、(June 2015)

【国内学会・シンポジウム等における発表】

(口頭発表 査読無し)

1) O農工太郎、小金井花子、・・・ 「(題名)」、『(学会名)』、No. 200、仙台、2015 年 9 月

【特記事項 (受賞歴等)】

1) 学会太郎・・・「(賞の名称)」、2015 年 4 月

インターンシップの概要及び見込まれる成果 (1000 字程 募集要項の趣旨を理解して記入すること。)

インターンシップを自分の将来及び研究にどのように活かす予定か (500 字程度 キャリア計画を含めて記入すること。)

肖像権使用同意書

私は、未来価値創造実践人材育成コンソーシアム及び各構成機関（以下「コンソーシアム等」という）に対し、コンソーシアム等またはその指名した者が私の肖像等を撮影した画像について、下記に定める使用範囲において、無償で使用することに同意します。

●署名

印

【使用範囲等】

①本画像を使用したコンソーシアム等またはその指名した者の作品が、放送、印刷（ポスター、パンフレット等）、インターネット（同コンソーシアムホームページ等）他のあらゆる媒体で使用されることを許可します。

②本画像の使用地域及び使用期限を制限しません。